

# 常呂川水系流域治水プロジェクト（素案）

～タマネギ収穫量日本一を支える地域の安心・安全確保に向けた治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、常呂川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、戦後第2位の平成18年8月洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の平成28年8月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害等の軽減を図る。

## ■ 河川における対策

国の対策内容 河道掘削、堤防整備、河床低下対策、堤防強化対策等

※今後、関係機関と連携し、道管理区間の河川改修を追加予定

## ■ 流域における対策のイメージ

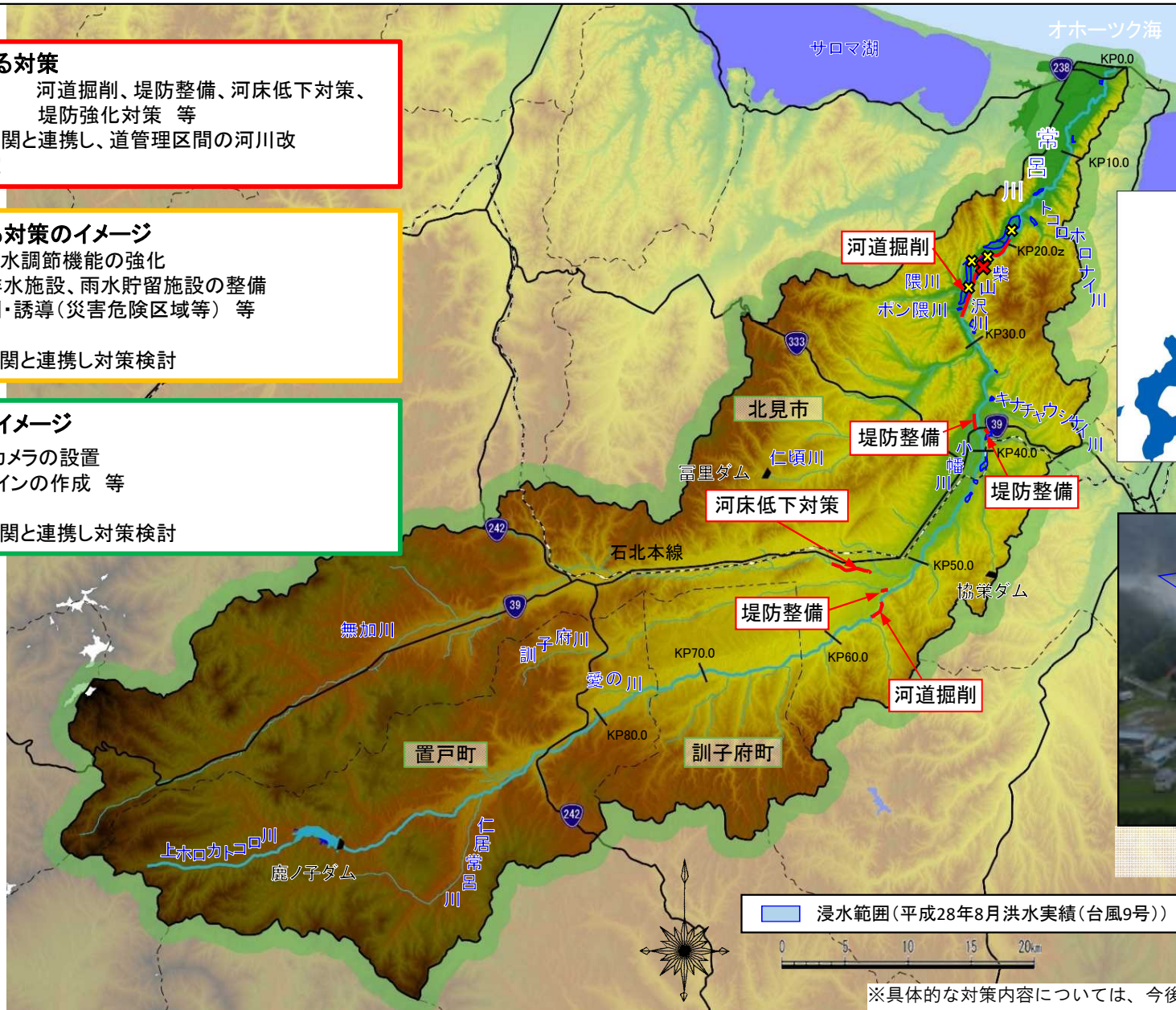
- ・既存ダムの洪水調節機能の強化
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）等

※今後、関係機関と連携し対策検討

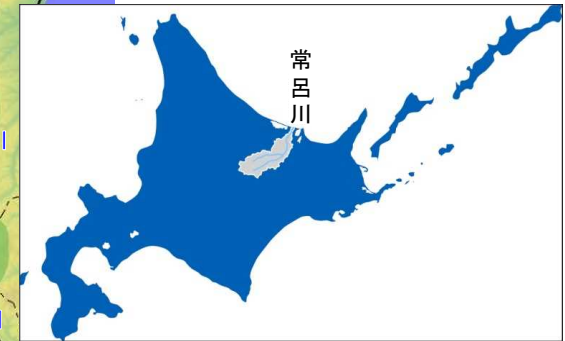
## ■ ソフト対策のイメージ

- ・水位計・監視カメラの設置
- ・マイ・タイムラインの作成等

※今後、関係機関と連携し対策検討



【位置図】



平成28年8月洪水  
被害家屋63戸、氾濫面積273ha

浸水範囲（平成28年8月洪水実績（台風9号））

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。